

2011

Vol. 12

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING HOME  
HOJUEN

## FRUIT FULL TREE



豊かな樹 ・ 豊寿園

# トピックス TOPIX

## 1 成果を発表しました！

4月21日 介護職員による研究発表会を行いました。

この発表会は21年度からの取り組みで、介護職員が1年間グループや個別に研究したり、取り組んだ内容を全職員の前でプレゼンテーションしました。

学び・考え・行動できる介護職員であることを目指して、研究発表会は今年度末にも予定しており、既に職員たちは取り組みを始めています。

### 【発表テーマ】

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1.「介護サービスに関する事故検証」    | 6.「新人職員指導マニュアル」           |
| 2.「バリアフリー・ケアを目指して」    | 7.「事故防止 危険予知能力を高める」       |
| 3.「個別ケアへ成功事例～」        | 8.「訪問介護事業所 ～円滑な運営に向けて～」   |
| 4.「介護力で拘縮予防～ポジショニング～」 | 9.「認知症ケアの質の向上 その取り組みについて」 |
| 5.「浴用石鹸と皮膚トラブル」       |                           |

## 2 ますます、活発な活動を！

6月4日 平成23年度豊寿園家族会総会が園内で開催されました。

決算・予算報告の他に、新役員の補充が行われました。

また、より会員同士の親睦を深めるため新たな活動が提案されるなど、ますます活発な活動が期待されます。

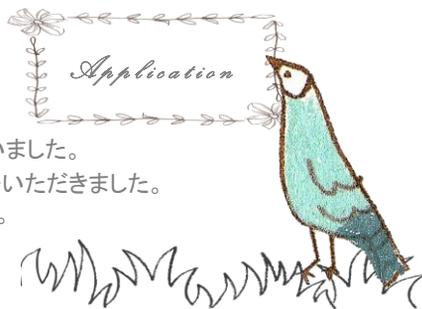


## 3 たくさんのお申込みをいただきました！

5月23日 第三者委員の出席のもと、入所待機順を検討する会議を行いました。

今回の待機期間は6月1日から11月30日までで147名の方にお申込をいただきました。入所順位の進捗についてはホームページ上で確認いただく事ができます。

○豊寿園ホームページ <http://nissekihoujuen.jp>



## 4 もっと知っていただきたい赤十字！

日本赤十字社では、赤十字をもっと良く知ってもらうために、今大人気のAKB48をオフィシャルメッセンジャーに起用し、「AKB48と一緒に もっとよく知る赤十字！」という特設サイトを開設しました。

サイトでは赤十字に関する問題に取り組んでいただく中で、赤十字の事が簡単に理解してもらえるようになっています。問題に全問正解した方には、AKB48メンバーの壁紙ダウンロードサービスも行っています。

また、この度の東日本大震災への義援金については平成23年9月30日まで受け付けています。

お寄せいただいた義援金は被災都道府県へ順次送金しています。東日本大震災への支援状況については日本赤十字社のホームページをご覧ください。



○AKB48特設サイト <http://www.jrc-kentei2011.jp>

○日本赤十字社 <http://www.jrc.or.jp>

**日本赤十字社は  
義援金を100%被災地に  
お届けしています。**

手数料などは、一切いただいておりません。  
被災地の自治体に、順次、速やかに送金しています。



5月22日 門司港にて開催された。「門司みなと祭り」祝賀パレードに門司区地域奉仕団の皆さんと一緒に参加しました。沿道から多くの声援をいただきました。



## 赤十字って、きっと、もっと身近になるはず。

そういえば、町のあちらこちらでよく見かける。  
 赤十字はきっと、もっと身近になるはず。



5月28日 JR門司港駅前にて北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会の皆さんと一緒に統一ボランティアデーの清掃活動を行いました。



6月1日 市立松ヶ江北小学校の避難訓練に、岩手県へ介護チームとして支援活動に出席した職員が参加し、活動内容の報告を行いました。報告の他に救援物資の説明を行い、防災意識の啓発を行いました。



6月14日 丸山市民センターにて開催された健康講座に奥水介護係長が出講し「認知症を知り、認知症の人を支える」という講義を行いました。



写真右が豊寿園ご入所中の近藤さんのお母様  
写真左のお父様との仲の良さが伝わります  
平成9年8月撮影（近藤さん提供）

## あなたと向き合った日々 HOUJUN × Family

ご家族様の介護に取り組んだ経験をお話いただくこのコーナー。  
今回、奥水介護係長のインタビューに応じてくださったのは、豊寿園家族会で  
会計監事を務めていただいています近藤絹代さんです。

「お母様の思い出を話していただ  
けますか？」

「自分は食べなくても子どもに食べ  
させるような人で、とにかくよく働  
く人でした。残念なのは、二十歳か  
ら和裁を教えていて、母はずっと続  
けたかったと思うのですが、父が自  
分の退職を機に母にも七十歳の時  
に和裁を辞めさせたんです。以前に  
園の行事で職員さんが着物を着て  
いるのを一緒に近くまで見に行った  
のですが、全く興味を示さなかつた  
のが少し寂しかったですね。でも、今  
でもタオルをたたんでいるのを見る  
と端と端をキレイに揃えるのは着物  
を扱っている時と同じなんです。体  
が覚えているんでしょうね。」

「元々、病院嫌いでしたから  
連れて行くのは大変でした。」

「いつ頃から認知症の症状が見ら  
れましたか？」

「振り返ると豆腐のパックを沢山  
集めだして、十個は超えていました。  
昔から何かに使えないかと、物を捨  
てない母だったので、捨てずに置いて  
いるんだと思っていました。」

「父と二人暮らしで、二人で歩いて  
買い物に行っていたのが、バスに乗っ  
て出かけるようになり、外食は嫌  
がっていたのに物菜を買ってくるよう  
になったりと行動に変化が見られる  
ようになりました。あれだけ嫌い  
だった即席ラーメンを「おいしい」と  
食べているのには驚きました。」

「同じことを何度も繰り返す言  
事が続いたので、病院を受診しまし  
た。元々病院嫌いでしたから連れて  
行くのは大変でした。「アルツハイ  
マー型認知症」の診断を受けまし  
た。」

「私は、母達の直ぐ近くに住んでい  
たので頻繁に様子を見に行っていま  
した。よく『大変ね』と言われました  
けど、私も楽観的なのか、あまり大  
変と感じていなかった気がします。  
また、母達が住んでいた地域の人も  
随分助けけてくれました。」

「病院に入院している時も、母が面会  
者と一緒に抜け出し行方不明にな  
った事があるんです。その時はバス  
に乗ってしまったようなのですが、お  
金を持っていない母を不審に思い、  
病院に連絡してくれて事なきを得  
た事がありました。」

「父も脳血管性認知症になり、二  
人で豊寿園への入所が決まっていたの  
に、父が拒否した経緯があるんです。  
父が体調を崩して入院したときに  
は、片時も傍を離れない母のために、  
特別に一緒に入院させてもらったり  
しました。その後父が亡くなったの  
を機に、母は豊寿園に入所する事  
になりました。仲の良かった二人が  
最後まで一緒に過ごせて良かったと  
思っています。私もそんな両親には  
感謝していますし、今でも母の事に  
関わっているのは苦にはなりません。」

「認知症の人について、今は多く  
の情報を目にする事ができ、世間一  
般に認識されつつあると思います。  
けれども、今から十年以上前に、  
地域の人の支えで生活できたことは  
幸せな環境だったのではないでしょ  
うか。」

「それができたのは、家族の方があ  
まり深刻にならず、必要な時に医  
療や介護サービスを利用し、周囲の  
人に支えられてきた事があまり大  
変と思わずに介護が来た秘訣か  
もしれません。近藤さんのお話は、  
今介護をされている方のお手本と  
言えるかもしれません。貴重なお話  
ありがとうございます。」



日本赤十字社

## We are volunteer

赤十字活動を支えるボランティアさんを紹介するコーナーです。

「ボランティアが入っている施設は、開放された居心地の良い施設である。ボランティアも伝えたいと思う。」



八坂和子さん  
門司区福祉ボランティア一期会会長  
豊寿園第三者委員をはじめ、門司  
を美しくする会会長など多くのボラン  
ティア団体等に関わっていらっしゃる

「そう話してください。豊寿園の開設以来活動をしていただいています。門司区福祉ボランティア一期会、会長の八坂和子さんです。」

「今回は八坂会長に、豊寿園での一期会さんの活動やボランティア活動についてお話を伺いました。」

「一期会さんの活動についてご紹介ください。」

「開園当時は、入浴やおやつやの介助、洗濯物たたみ、リネン交換などから始まりました。現在では会員の特技などを活かしながら、歌や紙芝居、お話相手やリネン交換などの活動を行っています。」

「私たち職員だけではなく、経験や年代など違う様々な方が関わっていただいていることは、ご利用者様の生活に良い刺激になっていると思います。現在、会としての課題などはありませんか？」

「私達一期会もスタートから二十年が経過し、会員の高齢化が進んでいる事が課題です。また、常にお手伝いを希望される施設は多数ありますが、施設とボランティアさんとの連携が上手く取れないと長続きはしません。その点、豊寿園は理念の方向性がしっかりとしているので開園以来の活動が継続しています。」

「ボランティアに興味を持っている方や、これから始めてみようと思っている方に伝えたいことはありますか？」

「施設を利用していらっしゃるご家族には、ボランティアが入っている施設は、開放された居心地の良い施設であるということをお伝えしたいと思います。そして、人間は生きがいを感じながら年を重ねると、いつまでも若さを保てられることを、一期会の会員は実感しつつ、今日もボランティア活動を頑張っています。」

## コラム 「豊寿園の食事について」

C O L U M N

text by 管理栄養士 長崎 真紀子

現在豊寿園での食事形態の区分は、主食はご飯、粥、粥ミキサーの3種類を提供しています。また粥ミキサーはそのままで糊状になるので、商品(スベラカーゼ)を使用しべたつきを解消した状態で提供しています。

主菜・副菜については、形・刻み・ソフト・ミキサーの4種類を提供しています。また以前は、刻みを更に細かく刻んだ食事形態、「特刻み」というものも提供していましたが、今年4月からは特刻みを改良し「ソフト食」として、より食べやすく変更しました。特刻みと比べ固形化しているため、なめらかで飲み込みやすく、見た目にも気を配ったものになっています。

対象が高齢者なので一般の食事とは違い調理方法についても気を配っています。大きさや硬さには特に気を配り、調理過程では圧力鍋などを利用したり、ゴマなどは粒を残さないよう砕くなどの工夫をしています。また、揚げ物をそのまま提供することはほとんどなく、より食べやすいように揚げ煮にするなど一工夫しています。

さらに、高齢者に多い誤嚥を防ぐため、水分の多いものはトロミをつけたり、お茶もゼラチンで固めるなどより個別対応した食事を提供しています。

このように形状や栄養価だけでなく、見た目から受ける食欲をそそるような色彩、また、季節を感じられるような旬の食材を盛りこむように気をくばって献立を立てるようにしています。

まだまだ改善する点などもあり完璧とはいえませんが、年々レベルアップできるように厨房一同、ご利用者様の笑顔を思い浮かべて日々努めています。



3月末 豊寿園の駐車場にてお花見。  
満開の笑顔に思わずシャッターを。



4月に食事処へ外出に。  
ご家族様の前ではより食も進みます。



4月にサンリブシティへバスハイク。  
ショッピングを楽しめました。



5月にご近所の門司障害者地域活動  
センター内の喫茶店まで散策に。



## そこには笑顔が交錯する

園内の行事は日常と非日常を提供します。五感で感じていただく四季の移ろいや、ご家族様と過ごしていただく時間に多くの言葉は必要ありません。そこには昔と何ら変わらない微笑があり、時間の速度を緩やかにしていきます。



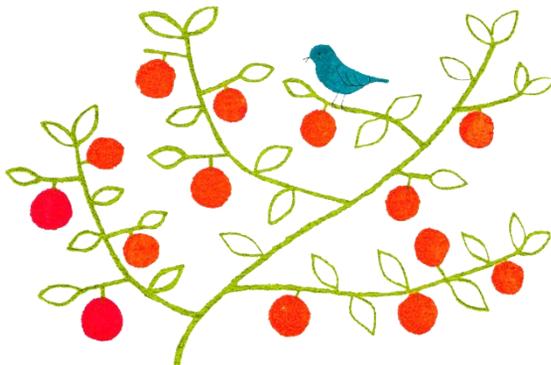
6月に豊寿園の開園記念行事にて。  
厨房職員手作りの美味しいケーキに舌つづみ。



5月に“端午の節句行事”で、新門司保育所の園児さんが来園。  
可愛い園児さんに笑顔がはじけます。

## 栄養一口メモ

## 介護一口メモ



### 夏場こそ感染症にご注意を！

感染症と聞くと寒くて空気の乾燥している冬場をイメージします。しかし、実は夏場も暑さや食欲不振、生活習慣の乱れなどから様々な感染症にかかりやすい時期なのだそうです。今回はそんな感染症の予防方法をご紹介します。

#### 感染症予防の基本

感染症を予防する方法として一番効果的だといわれているのが手洗いです。ただ漠然と洗うのではなく、手と手をこすり合わせる「もみ洗い」が基本です。

これをきちんと行えば、たとえ菌がついても、ほとんどの菌は取り除けるので、必要以上に恐がらなくても大丈夫です。帰宅した際には必ず実行するようにしましょう。また、外出先などでは、速乾性のある消毒剤をすり込むか、アルコール綿などで拭いて代用します。

- 「もみ洗い」の基本六ヶ条
- ①手のひらをよくこする
  - ②手の甲もよくこする
  - ③指先も入念にこする
  - ④指の間も十分に洗う
  - ⑤親指もねじり洗う
  - ⑥手首も忘れずに洗う

また、手洗いも洗いすぎては手が荒れて逆に菌が付きやすくなるので、クリームなどでの保湿も忘れずに。

### 「塩分を上手に控えるコツ」 あなたはどう存知ですか？

前回はどれだけ日本人が塩分の多い食事を摂っているか？また加工食品にもたくさん塩分が含まれることをお話しました。

今回のテーマは、

「塩分を控えるコツ」です。

まず塩分が少ない食品を選ぶ事が重要です。例えば塩蔵品(畜肉、魚貝類、野菜などに食塩を加え、貯蔵性をもたせた物、塩漬けなど)は週一回にしたり、漬物や汁物も食べる回数や量を減らしましょう。汁物は一日一杯までにした方がいいでしょう。

私たちの身の回りにはあらゆるところに様々な微生物が住んでいます。その増殖が食べ物の中で行われると食中毒や腐敗の原因になります。人や動物の中で増殖した場合、疾病を引き起こすことがあります。これが感染症です。

漬物は浅漬けにしたり、汁物は貝沢山にすれば汁そのものが少なくなるので塩分の摂取が控えられます。だしにも注意しましょう。

だしにも注意しましょう。

ポテトチップスは表面に塩をふりかけているのでより塩分を感じやすくなっています。ちくわ一本とポテトチップス約二袋が同じ塩分と知るとびっくりではないですか？逆を言えば、ちくわにはそれだけ塩分が多いということにもなります。また、しょうゆやソースはかけて食べるより、取り皿でつけて食べましょう。その方が摂取量が少なくなります。まだまだコツはありますが続きは次号で。

ちくわ1本(90g) = ポテトチップ2袋(150g)

同じ塩分量とはびっくり！！

**今回のおさらい**

- 塩はさっと振りかけて！
- 塩蔵品や漬物、汁物は食べ過ぎに注意！
- しょうゆやソースはかけずにつけて食べましょう！

## 笑顔で過ごせる場所がある

デイサービスの始まりは、ご利用者様の、「おはようございます。」の挨拶から始まります。健康チェックの後は、午前と午後の順番を決めて入浴、昼食を全員そろって摂っていただき、しばし休憩。

午後は体操・レクリエーションをして午後三時にお茶タイムになります。午後四時前には職員と一緒に帰る準備をし、最後に「またきてくださいね」「また来ますね」の挨拶で終了します。



## Houjuen Experience report 豊寿園体験リポート

豊寿園のご利用者様の日常を紹介するコーナー。今回はデイサービスの一日をケアプランセンター管理者の城戸さんが体験してきました。

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

〰️ 〰️

## 豊寿園ブログ村

豊寿園に勤務する職員が私生活で感じたことなどを徒然と書き込む豊寿園ブログ村。

今回は2階介護主任の田尾奈津子さんです。

豊寿園に入社して9年目を迎えます。豊寿園で20代を終え、今年で30代に突入しました。そんな今年、私事ですが結婚が決まりました！！  
更になんと……………

**赤ちゃんまで授かりました！！**

毎回、妊婦健診に行きエコー写真を見るたび、どんどん人間らしくなっていくわが子にとっても神秘的なものを感じ、毎回感動しています。  
最近、おなかも段々目だってきました。  
幸いつわりもなかったのに、体重も着々と増加中です(泣)。

体重の増加をお医者さんに怒られながら、毎日、しっかりとご飯を食い母子共々成長しています。

それもこれも、一緒に働く豊寿園の皆さんに色々とお心配していただいたり、気を使っていたらいてるおかげと本当にありがたく思います。

おかげさまで、妊婦生活はあと少しですが、おなかの胎動を感じながら残り少ない日々を満喫したいと思います

どうか無事に生まれますように。

豊寿園職員のブログはホームページ上で公開しています。毎月1回更新中です。是非一度ご覧ください。  
○ホームページアドレス <http://nissekihoujuen.jp>

## 地域ぶらり情報

豊寿園職員がお勧めの地域情報を紹介するこのコーナー。今回は機能訓練指導員の松尾彩子さんお勧めのスイーツショップです。



藤松1丁目のバス停の目の前、緑と白の日よげが目印のスイーツショップ **Shige-ya[しげや]**さんを紹介します。私とShige-ya[しげや]さんの出会いは、息子の幼稚園の卒業式で配られた焼菓子でした。

とっても美味しく、オシャレなラッピング、すぐにお店に行き色々試してみました。ケーキはもちろん、プリン、マカロン、ロールケーキ、どれもほんと〜に絶品でした！

そしてある日、いつものようにお店に行くと、隣に素敵なカフェが！ランチやお店でしか食べられないスイーツ、こだわりのドリンクなどメニューも充実しています。また、静かで居心地が良く、気がつけば2時間経っていたということもしばしば…(しげやさんすみません！)。

「門司でちょっとお茶したいなあ」という時は、ぜひお立ち寄りください。ちなみに、今の季節におススメのメニューは、フルーツのたくさん入ったアイスティーです♪

## ○編集後記(editorial note)



スーパークールピズ商品や節電グッズが目につく近頃、今年も長い猛暑が続く気配を強く感じさせます。

さて、今回の「豊かな樹」では介護チームとして岩手県へ出動した職員の座談会に始まり、豊寿園の内外の活動などいつも通り豊寿園の今を紹介しています。

この「豊かな樹」について、以前より色々な方々からお褒めの言葉をいただく事が多く、編集を担当する広報委員一同次号への励みにしています。

そうです。この「豊かな樹」は、私達豊寿園職員が一人から手作りしています。

その為、文章や構成にお見苦しい点もあるかと思いますが、職員のアツイ思いを感じていただければ幸いです。

平成23年度広報委員 生活相談係 森英樹

☆今回の『豊かな樹』をお店に持参された方にはしげやさんからおいしいプリンを1ヶプレゼント！(8/31まで)



スイーツショップしげや

北九州市門司区藤松1-9-17  
TEL 093-381-4674  
10:00~19:00  
定休日:月曜日

## 介護チーム派遣の今後の課題は？

坂根:今回は初めての取り組みで色々な問題点はあったと思います。施設側の手を煩わせないために、メンバー同士の申し送りも課題でした。第二次では活動日程の前後が重複している点が改善された点だと思います。第一次の活動については、避難所と施設の支援を一緒に行おうとしたところに難しさがあった気がします。

城戸:同感です。それであれば連絡調整員がもっと必要だったと思います。

荒木:第1班の時期から、避難所に要介護高齢者はほとんどいらっしゃいませんでした。発生当初から施設などへ集まられていたのだと思います。そういった意味では、今後も介護チームの支援は施設での活動が中心になってくるのではないのでしょうか？

園長:早い時期から要介護高齢者が施設に集まっておられた今回の状況から、福祉施設の一角を間借りし、そこを拠点に支援活動を展開することもできると思いますが、医療との連携による細かな情報の収集はもちろんの事、施設や避難所に伺えた人以外に、介護を必要とする高齢者の方は自ら動く事が出来ない訳だから、在宅で苦しんでおられる方も多かったと思います。その方たちの支援方法を検討する必要があるでしょう。医療救護のdERUのように、巡回・移動可能で介護資材や入浴設備を備える災害福祉支援車両を整備して、介護職員と共に派遣するという事を検討しても良いかもしれませんね。



活動場所は施設内が中心になってくると思います。(荒木)



もっと早い時期から活動を。(大森)

大森:そうですね、発生当初はもっと多くの要介護高齢者が避難所にもいらっしゃったと思います。また、水道設備が整わない施設もあった中で、移動式の入浴設備を持ち込むことは私も有効だと思います。そういった意味でも、もっと早い時期、医療救護要員の編成段階から介護チームも準備しておくことが必要ではないでしょうか。

## What's dERU?



「国内型緊急対応ユニット」といい、仮設診療所設備とそれを運ぶトラック、自動昇降式コンテナと訓練された医師、看護師、助産師、薬剤師などの医療要員及び事務職員、また、これらを円滑に運用するシステムの総称です。今回の被災地でも運用されています。

## この先、出動する職員はどういった準備が必要ですか？

古賀:出発の日、移動の飛行機で赤十字の職員が乗っていることをアナウンスされたり、乗客から激励を受けたりと、一般市民からの期待を感じました。私達が日頃から赤十字の職員であることをしっかりと意識しておくことが大切だと思います。

園長:今回出動した皆は、日頃から職員をリードする立場にある人ばかりなので意識は高いと思いますが、この度の赤十字の救護活動を目の当りにした事で、自分達は豊寿園の職員というだけでなく、赤十字の職員であることを強く認識したと思います。それを他の職員へも伝えていって欲しいと思います。

## 介護支援活動について ～ 座談会の結びに ～

今回はじめて赤十字から介護職員による支援が行われました。その大きな背景として、現在本社が開設を進めている総合福祉センターの存在があり、この度の災害規模や実情から介護支援の必要性が検討され実行されたものと思います。

日頃は豊寿園の職員も医療救護班の一員としての訓練に参加していますが、今回は介護が主となる初めての支援活動であったため、出動した職員は個々の中で具体的な活動のイメージが描けず不安も大きかったものと思います。

豊寿園では4月14日からの第一次第1班に2名と、その後の4班まで全てに職員を動員しました。

出動した職員は、日々多忙な業務を調整しての出動となり、留守中の業務への影響は大きいものがありました。それを残った全職員で支えることによって間接的ではありますが、豊寿園全ての職員が支援に携わったと言えます。職員はそのような気持ちを持って出動する職員を送り出したと思っています。

さらに、被災地は園の業務事情などとは比べものにならない程の大変な状況にあるわけですから、それに対する支援行動は当然の責務であること、さらに、このような有事には初動が何よりも大切です。第一次チームの活動が、5月31日からの第二次派遣に繋がったのだと思います。

日本赤十字社の中で福祉関係組織は小さな分野ではありますが、福祉に携わる赤十字人として、今回の経験を活かし、今後の災害救護の一翼を担う新たな“福祉災害支援”が赤十字の中で確立されることを願います。



豊寿園園長 榎本 幹生

震災から4ヶ月が経過しました。未だ続いている被災者の皆様の苦悩は幾ばかりかと心よりお見舞いを申し上げます。

## 東日本大震災 介護チーム派遣を振り返る

この度の震災で被災された要介護高齢者等を支援する為、日本赤十字社では4月14日～5月13日までの間、全国の赤十字が運営する福祉関係施設から介護職員を動員し岩手県陸前高田市へ派遣しました。その後には、5月31日～7月1日までの間第二次派遣も行っています。

豊寿園からは、第一次には介護職員5名が出動し、高齢者施設で自身も被災した職員の代わりに介護業務に従事したり、避難所を周って他団体と共に足湯やマッサージなどの支援を行いました。第二次にも1名派遣しています。

6月7日豊寿園研修会議室において、出動した職員に現地での活動内容や課題について語り合ってもらいました。

### 座談会に参加した職員紹介(出動時期)



介護長  
兼生活相談員  
荒木 美奈  
(第一次第1班)



デイサービス  
生活相談員  
古賀 典子  
(第一次第1班)



介護長  
兼訪問介護管理者  
兼ケアマネージャー  
坂根 琢也  
(第一次2班、第二次1班)



ケアプラン  
センター管理者  
城戸 匡美  
(第一次3班)



介護職員  
大森 久嗣  
(第一次4班)

### 介護チームへの参加を希望した理由は？

荒木: 私は赤十字の職員として、また一人の介護福祉士として、救護班の編成に介護職員が入っていないことにずっと疑問を持っていました。今回は介護職員が中心のチームということで、待ちに待ったという気持ちでした。

城戸: 私は、豊寿園の前は赤十字病院に勤めていましたので、同僚の看護師達の出動を見送るばかりでした。自分にも何かできないかともどかしさを感じていましたので、今回の介護職員の出動には是非自分も関りたいという思いでした。



介護の専門性を発揮  
したいと思いました。  
(城戸)



施設内は人手が足りず、  
大変な状況がありました。  
(古賀)

### 現地はどういった状況でしたか？

#### また、活動の中で現地のニーズをどのように感じましたか？

古賀: 私の出動した第1班の時期は、現地の施設内には入所者と避難してきた方が一緒に過ごしていて人で溢れかえっている状況でした。職員の方々は震災以来、家が流されたり、家族が行方不明になるなど自分自身も大変な状況の中勤務にあたられていて、本当に介護の人手を求めているという印象でした。

荒木: 第1班が施設に入った当初は、向こうの職員さんから「今さら・・・」という様な、受入に否定的な雰囲気も少なからず感じました。ただ、一緒に業務をこなしたりする中で、徐々に私達を受入れてもらった気がします。第1班はそういったニーズと活動内容の調整に追われた感があります。

城戸: 施設の職員さんたちのストレスが限界に来ていたということではないでしょうか？職員さんは皆被災している方々ばかりで、なかなか自分ひとりだけ弱音を吐けないというような、雰囲気もあったのではないかと思います。そういった意味で職員さんへのリラクゼーションは有意義だったと思います。



今後も長いスパンが必要  
だと思います。(坂根)

坂根: 私は、震災から1週間後に宮城県の石巻赤十字病院で医療救護の中の事務支援に出動し、今回の介護チームの第一次、第二次派遣で出動しました。その中で感じたのは、震災当初は生死に係る事が中心、その後衣食住の問題が出てくる。第一次介護チームの時期はこの衣食住の問題が中心だったと思います。その後の第二次に関しては復興に繋げる支援が課題だったと思います。これからの要介護高齢者のニーズに関しては、在宅でというよりも施設サービスがどうしても中心となってくると思います。だからこそ、介護チームの活動は医療救護と違って、もっともつと長いスパンでの継続的な活動が必要になってくると思います。

2011

Vol. 12

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECCIAL NURSING HOME  
HOJJUEN

豊かな樹

F R U I T F U L L T R E E

豊寿園



Director of photography kyoumi kido

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

